

大会支給物 (当日、受付にてお渡しするのは下記の通りです。)

レースナンバー 2枚・安全ピン 8本

ランウエアの前胸部に、四隅にしっかりと取り付けてください。

バイクウエアの後背部に、四隅にしっかりと取り付けてください。

ラン・バイクウエアを共有される人は、前後とも四隅にしっかりと取り付けてください。

(レースナンバーベルトの使用は許可します。この際、前後に1枚ずつ取り付けてください。)

計測記録用チップ(競技規則 その他の項をよく読んで装着してください。)

スイムキャップ カテゴリー区分ごとに色分けしています。

スイム終了後、トランジションエリア入り口の計時地点で一度回収(カゴを用意)します。

バイクレースナンバーシール 2枚

サドル下の三角部分に両側から貼ってください。(解らない場合は、大会スタッフに聞いてください)

ヘルメットレースナンバーシール 1枚

ヘルメット前部 前方から良く見える位置に貼ってください。

記念品 大会プログラム、大会記念Tシャツ

競技規則(ローカルルール)

(社)日本トライアスロン連合(JTU) 競技規則を基本とし、下記のローカルルールにより行います。

JTU 競技規則は、JTU ホームページ <http://www.jtu.or.jp/> でご覧いただけます。

よく読んで、ルールを十分理解して参加してください。

競技規則に違反した場合は、警告または失格の対象になります。

競技全般

・ 競技説明は要点のみ行います。質問等は事前に大会事務局または受付の際に問い合わせして下さい。

・ **スポーツマンシップに従い、マナー良く競技に参加してください。**

危険行為・他競技者への妨害・大会スタッフへの暴言等は、失格の対象になります。

・ 全競技中、大会スタッフ(審判員)が選手の競技続行が困難と判断した場合、競技を中止させることがあります。

・ 競技終了時間を超えて、競技を続行する事はできません。また、何らかの理由で競技を中断(リタイア)する場合は、審判員に申告の上、競技を終了して歩いて本部まで戻ってください。

スイム競技

・ 水温がまだ低いことが予測されますので、**ウエットスーツの着用を義務付けます。**

・ 大会スタッフ(審判員)が続行困難と判断した場合、選手の安全確保のために救助動作に入ります。

・ **海水を多量に飲んだ場合や肺に海水が入った場合、また平衡感覚等が失われつつある場合、**

生命に危険を及ぼす事がありますので救助を求めるようにしてください。(ライフセイバーや大会スタッフに手を振り合図をする。但し、コース上のブイ、ライフセイバーのレスキューボードにつかまり小休することはできません。)

・ 悪天候によりスイムを中止した場合、スイムに代わり第1ラン(スプリント・リレーの部3km・トライアスロンの部5km)を行います。

・ スイムフィニッシュからトランジションエリアまでは、スロープを使用し、また足元の悪い箇所も一部ありますので、慌てることなくスムーズに移動してください。

・ スイム終了後に使用するメガネは、スイムフィニッシュ付近の大会スタッフの指示に従い、テーブルに置いてください。

・ 参加選手は、大会支給の区分ごとに色分けされたスイムキャップを着用してください。

・ **スタート前の召集(入水チェック)はスタート15分前から始めます。**

・ スタート前のウォーミングアップは、審判員が状況を判断して指示します。

・ スタートは、区分ごとに入水した後、エアホーンの合図で一斉スタート(フローティングスタート)します。

<スイムスタート後方の大型ボードにつかまり待機することは可能>

バイク競技

・ **ヘルメットは、バイクラックからバイクを外す前に被って、ストラップを締めて下さい。**

降車時は、逆順でバイクラックにバイクをセットするまで、ストラップを外さないで下さい。

・ **トランジションエリア内は、バイク乗車禁止区域です。乗車の時は、乗車ラインまで押し、降車の時は、降車ライン手前で降車してから、各自のバイクラックまで押して行ってください。**

・ **バイクコース上は左側通行、右側追い越しの原則を守ってください。**

・ 追い越しは、後方に十分注意して、「右側から追い越します」と声を掛けてから右側から速やかに追い越してください。聴覚障害のトライアスリートも出場します。追い越しは、お互い事故のないよう注意しあって下さい。

・ **スタート直後のロッジ舞洲裏への走路は、追い越し注意区間となります。**

・ バイクコースは1周3.8kmの周回コースです。スプリント・リレーの部は5周回、トライアスロンの部は10周回です。

・ ご自身の周回と距離確認のために**サイクルメーターの使用をお勧めします。**

・ **スタート前に距離表示を0に戻してからスタートして下さい。**

・ **ドラフティング(1)は禁止します。**

定点マーシャル(審判員)により連続してドラフティング状態が報告されれば失格の対象となります。

(1ドラフティング)とは、自転車の後ろを走る場合5m以上離れなければならない規則です。ただし追い越しをするときは15秒以内に済ませてください。詳細はJTU 競技規則参照のこと。

・ **バイクコースでの事故により救急車が進入した場合、付近の競技者は一時的に競技を停止しなければなりません。**

その後、コース上の大会スタッフの指示に従ってください。

・ **バイクコース上にはエイドステーション(給水所)を設置していません。水分補給は各自のボトルで行ってください。**

・ 十分に整備されたマウンテンバイクの使用を許可します。但し、スタンド、泥除け、ライトなど競技に不必要な物は取り外して下さい。